

2022(令和4)年度 事業計画(案)

1. 県連盟年度事業方針 スローガン及び重点目標

一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟として100年の歴史に基づき、新しい時代のスカウティングを推進するために、スカウト、保護者、指導者の関係の重要性を再確認することを事業方針とする。

【スローガン】

基準の維持と共に楽しいスカウティングの展開

スカウトはもとより、すべての人が楽しく参加できるスカウト運動をめざそう

【重点目標】

1. スカウトの活動を支える

団委員会、団会議の定期開催と連携を密にした会議の充実を図る (支援)

2. 若い指導者の確保

スカウト経験者、保護者、地域の若者の開拓を図る (発掘)

3. 保護者との連携

保護者のスカウト運動への理解を深め、スカウト、指導者と一体となった活動の推進を図る (協働)

2. 県連盟コミッショナー方針

ちかいとおきての実践を基盤とした班制教育・進歩制度・野外活動を推進するために、育成会、団委員会、隊指導者、保護者が一体となって、現状カテゴリーからのワンアップをめざすとともに、団委員会、隊指導者の協力による一貫したプログラムに基づき、スカウト一人一人が主役となる教育を行う。

ボーイスカウト運動は、「ちかい」と「おきて」の実践を基盤とし、ベーデン・パウエル
の提唱する班制教育と各種の進歩制度と野外活動を、幼年期より青年期にわたる各年齢層に
適応するようにビーバースカウト、カブスカウト、ボーイスカウト、ベンチャースカウト及
びローバースカウトに区分し、成人指導者の協力によってそれぞれに即し、かつ、一貫した
プログラムに基づいて教育することを基本方針とする。

(日本連盟教育規程 1-4「基本方針」より)

3. 県連盟コミッショナー及び各種委員会目標

(1) 県連盟コミッショナー

1. 地区重点支援団への支援を行う

組織拡充・地域連携委員会と連携し、地区重点支援団を決め、地区コミッショナーを中心としたチームで支援団と一体となり、ワンアップをめざす。

2. スカウト一人一人が主役となる教育を行う

(1) ビーバースカウト（楽しく）

スカウトの興味と保護者の要望を取り入れ、活動の目標に沿って、仲良く遊ぶ活動を行う。指導者および保護者は、楽しく日常生活が送れるよう、スカウト一人一人の成長していく姿を見つけ評価することで、「木の葉章」課目を活用し、さらなる成長を促す。

(2) カブスカウト（いきいき）

スカウトの要望を取り入れ、活動の目標に沿って、組の中で一人一人が自分の役割を果たしながら活動を行う。指導者は保護者の協力を得て、活動および家庭の中で、スカウト一人一人のいきいきと成長していく姿を実感し、さらに伸ばせるよう、進歩課程の履修とチャレンジ章挑戦を支援する。

(3) ボーイスカウト（目標）

スカウト自らが目標を定め、班長を中心に一人一人が自分の役割を果たせるよう、班活動および隊活動を行う。特に上級班長が座長となって班長会議を中心としたスカウトの自治による活動を行う。指導者は、班長訓練における指導を中心に、リーダーシップ教育を念頭に置き、スカウト一人一人の個性特長を見つけ、進級課程の履修と技能章挑戦を支援する。

(4) ベンチャースカウト（挑戦）

スカウト自らが考え行動することを基に、スカウトの自治による隊運営会議、隊会議、隊集会、活動チームによる活動を行う。指導者はアドバイザーとして、ジュニアリーダーの育成とリーダーシップ、メンバーシップ、フレンドシップ教育を念頭に置き、スカウト一人一人の個性特長を伸ばせるよう、進級課程の履修と技能章挑戦を支援する。

(5) ローバースカウト（担い手）

スカウト自ら実施する自己研鑽と、スカウト一人一人の自覚のもと、奉仕活動や社会活動、団・隊の活動を越えた交流活動を行う。指導者はスカウトの相談相手となり、社会に奉仕する精神と体力を養うことができるよう支援する。

3. ユース年代の拡充および活躍できる環境づくりを推進する

県連盟、各地区、団は、ユース年代の発掘と支援を全力で取り組む。またユースチーム静岡が活躍できるよう、日本連盟や中部ブロック、県内各地区と連携できるよう支援する。

4. 「セーフ・フロム・ハーム」の徹底

(1) 「セーフ・フロム・ハーム」セミナーおよび登録前研修の完全実施をめざす。

(2) 県連盟コミッショナーおよび地区コミッショナーは、「セーフ・フロム・ハーム」の適切な対応を行う。

5. 県連盟トレーニングチームを活用し、指導者の活性化を支援

コミッショナー事業目標を達成するための必要な心構え、知識、技能の修得を支援する。

(2) 総務・広報委員会

1. 県連盟定時総会、理事会等の企画・準備を効率的かつ円滑に運営
2. 県連盟ホームページ及び県連盟機関紙「たちばな」の充実により、「情報発信・情報共有」の取組みの強化（「たちばな」の購読料改定及び配布部数変更を実施する）
3. 専門チーム（「国際活動チーム」「医療チーム」）の整備
4. 危機管理の体制づくり
5. その他、各委員会の所掌に属さない業務の実施

(3) 組織拡充・地域連携委員会

1. 登録人数を増加し、1つ上のカテゴリーをめざす
 - ・「わくわく自然体験あそび」の推進
 - ・入団勧誘の促進と賞賛
 - ・目標達成団への賞賛

- ① カテゴリーS、Aの団は、各隊標準隊をめざす。
- ② カテゴリーBの団は、カテゴリーA（スカウト数65名以上）をめざす。
- ③ カテゴリーCの団は、カテゴリーB（スカウト数40名以上）をめざす。
- ④ カテゴリーDの団は、カテゴリーC（スカウト数20名以上）をめざす。

2. 団の資質向上と組織重視への意識改革
 - ・団の現状分析と課題抽出 → 課題解決を推進する。
 - ・SKC（ソシキカクジュウカレッジ）開催と充実を図る。
 - ・SKCを通じて、団運営活性化の支援と団運営指導者の資質向上を図る。
3. 地域社会との協働
 - ・防災キャラバン、「体験の風をふかそう」のサポート、防災合宿を推進するとともに、ボーイスカウト活動のPRに取り組む。
4. 募金活動
 - ・緑の募金運動、緑化推進事業の積極的な推進により地域社会に貢献する。
5. 地域との連携
 - ・地区、団における地域貢献活動の実態調査を行い、地域連携の推進を行う。

(4) 指導者委員会

1. 任務中の支援（インサービス・サポート）の理解と積極的な推進
 - ・団委員長を中心とした団・隊指導者への支援（任務中の支援・団内研修）についての理解を進める。
 - 〔団・隊指導者の任命責任者である団委員長により任務中の支援を推進する〕

- ・団および隊指導者の任務に必要な心構えと知識・技能の修得を積極的に支援する。
〔地区コミッショナー主導による地区定型外訓練の実施を県連盟トレーニングチームとの連携により推進する〕
 - ・隊指導者に対する個別支援の充実と定型訓練・定型外訓練への参加奨励により一人一人のレベルアップをめざす。
〔地区コミッショナー・トレーナー・団委員長の連携による個別支援の推進〕
2. 県連盟主催の定型訓練・定型外訓練の実施と訓練コースの評価
 3. セーフ・フロム・ハームの理解と推進
 - ・「地区セーフ・フロム・ハームセミナー」開催の奨励と支援を行う。
 - ・登録前「eラーニングの履修」を推進する。
 - ・理解を進めるための教材等の紹介などの啓蒙活動を行う。
 4. 活動における安全に対する理解と推進
 - ・「地区安全普及セミナー」開催の奨励と支援を行う。
 5. 「発達障がいに対する研修会」の開催
 - ・発達障がいに対する理解を深めるとともに、必要な支援等のあり方を学ぶ。
 6. ユース年代へのトレーニング参加支援
 - ・ユース年代のトレーニングへの参加支援と積極的な奨励を行う。
 - ・トレーニングを通じたユース年代の活躍の場をさぐる。
 7. 県連盟野営備品の維持管理
 - ・タスクチームによる太田山倉庫・MOA大仁倉庫・旧大仁高校倉庫および桃沢倉庫の保守管理を行う。
 - ・タスクチームによる県連盟野営備品の管理・補充を行う。
 - ・MOA大仁研修センター野営場（仮称大仁トレーニングセンター）の整備を行う。
- (5) スカウト委員会
1. 進歩の促進
 - ・現進歩課程での進歩・進級に積極的に取り組めるように支援する。
 - ・個人の興味に応じた技能章の取得を支援する。（技能章取得研修会開催）
 - ・SDGsを積極的に取り入れた活動を推進する。
 2. 信仰奨励の推進
 - ・信仰奨励章、宗教章取得のための支援を行う。
 3. 国際理解の促進
 - ・国際交流・国際理解教育
海外派遣の楽しさ、海外で活動することの楽しさを啓蒙する。

海外派遣事業の普及を進める。

- ・国際交流および海外派遣事業の活動報告会を開催する。

4. 安全で楽しいスカウト活動の啓発

- ・時代に対応したスカウト活動への取り組みを推進する。
- ・セーフ・フロム・ハームを取り入れた安全で楽しい活動を推進する。

5. 防災プログラムの研究と提案

- ・既存のマニュアルの見直しを図る。

6. JOTA/JOTIの推進

- ・多くのスカウトが参加できる JOTA/JOTI を展開し、隊の枠を超えた仲間づくりができるよう支援する。
- ・ JOTA/JOTI を各地区・各隊でも行えるように支援し、技能章の取得につなげられるよう周知する。

(6) 女性・ユース活躍委員会

1. ベンチャースカウトフォーラムの実施展開

- ・各地区でアフターフォーラムが実施でき、次回の全国フォーラムにつながるよう支援する。ジャンボリーサマー静岡2022でのフォーラム開催を予定する。

2. ローバースカウトの活動

- ・ローバースカウトが、日本連盟や中部ブロック・県内各地区と連携して、活躍できるよう支援する。

3. 次世代チームの活動

- ・次世代チームで検討された課題等を新たな活動と躍進する組織となるようにする。

4. 女性指導者の活躍支援

- ・地区および団における女性指導者の活動実態を調査し、さまざまな場面で女性指導者が活躍できる環境を策定する。
- ・ジェンダーフリーを推進し、県連盟等においては、女性指導者の参画とリーダーシップの機会を確保する。

5. ユース年代のトレーニング参加

- ・ユース年代の指導者訓練参加を向上させるために、積極的な奨励と参加支援をする。
- ・トレーニングを通じたユース年代の活躍の場を模索する。

6. ユースチーム静岡の活動

- ・コミッショナーグループと協働し、35歳以下の成人指導者（スカウト）のユースチーム静岡への加入を促進するとともに、メンバーの把握を含め組織運営等を支援する。

- ・日本連盟や中部ブロック・県内各地区と連携し、ユースチーム静岡の活躍できる場を拡大する。
- ・ユースチーム静岡の活動を広く周知する。

(特別委員会)

(7) 第18回日本スカウトジャンボリー静岡実行委員会

1. 実行委員会及び準備委員会の開催

2. ジャンボリーサマー静岡2022（第18回日本スカウトジャンボリー中部ブロック静岡会場）の円滑な運営

3. 第18回日本スカウトジャンボリー中部ブロック静岡会場

- ・会期：2022年（令和4）8月6日（土）から8月11日（木）5泊6日
- ・会場 主会場：三島市立箱根の里
プログラム基地：MOA大仁研修センター

(8) 第25回世界スカウトジャンボリー静岡準備委員会

1. 準備委員会の開催

2. 参加希望者の募集推進と県連面接の実施

3. 派遣隊編成に関する日連及びブロック（分団）との調整

4. 第25回世界スカウトジャンボリー（25WSJ）

- ・大会期間：2023（令和5）年8月1日（火）～12日（土）11泊12日
- ・開催地：韓国 全羅北道セマングム

(専門委員会)

(9) 国際・国内行事専門委員会

1. 行事に関する専門委員会の開催

以 上